

日本学術会議公開シンポジウム/第13回防災学術連携シンポジウム  
「自然災害を取り巻く環境はどう変化してきたか」 (案)

日 時：令和4年5月9日(月) 13時30分～17時

場 所：日本学術会議講堂からハイブリッド開催 もしくはオンライン開催

主 催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会、(一社)防災学術連携体

■開催趣旨

自然災害を取り巻く環境として、時代とともに要因となるハザードや、災害を受ける社会の様式が急激に変化してきている。また、COP26など地球温暖化に関する国際的な枠組みの議論かが本格化している現在、改めて大きな時代認識を踏まえて自然災害を取り巻く環境の変化、対応及び今後の在り方を考えることは有意義であろう。

今回のシンポジウムとしては、地球温暖化に伴う気候変動や地形の改変に伴う土砂災害など人類の活動により、災害要因となるハザードや、災害を受ける側の社会環境がどのように変化し、対応をしてきたのかに注目して、情報交換と議論を行うことにより、今後の防災に向けた情報として共有したい。関連する専門家・学協会からの多くの発信を期待し、有意義な機会としたい。

■プログラム

司会 田村 和夫(日本学術会議連携会員、防災学術連携体事務局長)

永野 正行(日本学術会議連携会員、東京理科大学教授)

13:30 趣旨説明

米田雅子(日本学術会議防災減災学術連携委員会委員長、  
東京工業大学特任教授)

13:35 来賓挨拶 内閣府防災担当 (依頼予定)

13:40 基調講演1「人新世と自然災害～地質学から考える」(仮)

平 朝彦 東京大学名誉教授、海洋研究開発機構顧問

14:00 基調講演2「人新世と自然災害～地球環境から考える」(仮)

安成哲三 総合地球環境学研究所 京都気候変動適応センター長

14:20 学会発表：防災学術連携体 60 学協会から公募予定。  
1 学会 10 分程度（発表学会の数により調整）

テーマ例

- ・地形・地質の変化と自然災害の変化
- ・地球温暖化と自然災害の変化
- ・人口、社会、暮らしの変化に伴う自然災害の変化
- ・災害後の対応の変化 等

16:30 質疑応答

16:55 閉会挨拶 大友康裕（日本災害医学会代表理事、東京医科歯科大学教授、防災学術連携体代表幹事）

17:00 終了

お問い合わせ先

（一社）防災学術連携体 事務局 中川寛子

Tel: 03-3830-0188 email: office@janet-dr.com